

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 東 名

上場会社名 大東紡織株式会社

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 算 正澄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 加久間 雄二

TEL 03-3665-7816

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,425	△4.1	△57	—	△152	—	△155	—
21年3月期第1四半期	2,528	—	△61	—	△152	—	△156	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△5.20	—
21年3月期第1四半期	△5.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	25,165	5,438	19.7	165.35
21年3月期	25,781	5,515	19.6	169.11

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 4,951百万円 21年3月期 5,063百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,540	2.9	△20	—	△210	—	△230	—	△7.68
通期	12,220	4.2	460	—	70	—	60	—	2.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	30,000,000株	21年3月期	30,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	58,203株	21年3月期	57,853株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	29,941,884株	21年3月期第1四半期	29,946,138株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出に改善の兆しが見られるものの、企業業績や個人消費の低迷が続いており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

繊維・アパレル業界におきましては、昨年秋以降の個人消費低迷の影響を強く受け、非常に厳しい環境に置かれております。

不動産賃貸業界における商業施設につきましては、ショッピングセンターの売上高の落ち込みの影響もあり出店が低迷しております。

このような事業環境の中で、当社グループの繊維・アパレル事業につきましては、紳士衣料を中心に苦戦を強いられました。寝装品は業界全体が低迷する中で健闘いたしました。

不動産事業につきましては、「サントムーン柿田川」及び「サントムーンアネックス」とも概ね好調を維持いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,425百万円（前年同期比4.1%減）、営業損失57百万円（前年同期は営業損失61百万円）、経常損失152百万円（前年同期は経常損失152百万円）となりました。これに税金費用3百万円などを計上した結果、四半期純損失は155百万円（前年同期は四半期純損失156百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(繊維・アパレル事業)

素材部門につきましては、受注量の減少により売上高は前年同期を下回りました。

ユニフォーム部門につきましては、企業業績悪化の影響からユニフォームの更新を見送る企業が相次いだことや、官公庁の入札スケジュールが例年に比べ遅れていることから、売上高は前年同期を下回りました。

衣料部門につきましては、紳士衣料は景気後退の影響を受け百貨店を中心に一段と厳しい商況が続いており、売上高は前年同期を下回りました。婦人衣料は取引先の民事再生手続開始申立ての影響はあったものの、平成20年11月の(株)コスモエイの事業一部譲り受けが寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

寝装品部門につきましては、夏物商品の出荷が順調で売上高は前年同期を上回りました。

この結果、繊維・アパレル事業は売上高1,867百万円（前年同期比8.7%減）、営業損失128百万円（前年同期は営業損失101百万円）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、「サントムーン柿田川」及び「サントムーンアネックス」ともに専門店を中心に健闘し、概ね好調でありました。

この結果、不動産事業は売上高557百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益178百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

- (注) 1. 上記の事業の種類別セグメントの業績に記載している営業利益は、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。
2. 所在地別セグメントの業績につきましては、全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。
3. 当社の消費税等に係る会計処理は、税抜方式によっているため、記載した金額には消費税等は含まれておりません。
4. 記載している見通し等将来についての事項は、本資料の発表日現在において判断したものであり、予測しえない経済環境の変化等様々な要因があるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況に関する分析

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は25,165百万円（前期末は25,781百万円）となり、前期末に比べ616百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少96百万円、受取手形及び売掛金の減少579百万円によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は19,726百万円（前期末は20,266百万円）となり、前期末に比べ539百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少286百万円、短期借入金の減少1,229百万円、返品調整引当金の減少165百万円、長期借入金の増加1,214百万円によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における少数株主持分を含めた純資産の残高は5,438百万円（前期末は5,515百万円）となり、前期末に比べ76百万円減少しました。これは主に、四半期純損失155百万円、為替調整勘定の増加32百万円、少数株主持分の増加36百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローで11百万円のマイナス（前年同期は647百万円のプラス）、投資活動によるキャッシュ・フローで71百万円のマイナス（前年同期は2,026百万円のマイナス）、財務活動によるキャッシュ・フローで28百万円のマイナス（前年同期は612百万円のプラス）となりました。

これらの各活動に加え、為替相場の変動による資金に係る換算差額15百万円のプラスを反映した結果、資金の残高は954百万円（前年同期比1.2%減）となり、前期末に比べ96百万円減少いたしました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、11百万円のマイナス（前年同期は647百万円のプラス）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失152百万円、売上債権の減少614百万円、仕入債務の減少288百万円、預り保証金の減少56百万円、利息の支払額96百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、71百万円のマイナス（前年同期は2,026百万円のマイナス）となりました。これは主に、出資金の払込による支出57百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、28百万円のマイナス（前年同期は612百万円のプラス）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額403百万円、長期借入による収入1,530百万円、長期借入金返済による支出1,948百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年6月3日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,944,951	2,040,988
受取手形及び売掛金	1,835,060	2,414,714
たな卸資産	880,451	935,415
その他	319,336	245,650
貸倒引当金	△54,699	△63,973
流動資産合計	4,925,100	5,572,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,487,715	9,587,110
土地	9,343,286	9,343,286
その他(純額)	474,477	468,010
有形固定資産合計	19,305,479	19,398,407
無形固定資産		
投資その他の資産	98,390	94,160
投資有価証券	319,794	309,826
破産更生債権等	1,015,895	953,668
その他	407,583	351,145
貸倒引当金	△906,951	△898,430
投資その他の資産合計	836,322	716,209
固定資産合計	20,240,192	20,208,777
資産合計	25,165,292	25,781,573

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,528,298	1,814,372
短期借入金	2,645,590	3,875,154
未払法人税等	3,983	11,455
返品調整引当金	7,499	172,605
賞与引当金	23,952	35,447
関係会社事業整理損失引当金	67,000	67,000
繰延税金負債	741	446
その他	890,644	894,588
流動負債合計	5,167,709	6,871,069
固定負債		
長期借入金	7,570,606	6,356,427
長期預り保証金	3,730,757	3,787,472
繰延税金負債	4,275	3,861
再評価に係る繰延税金負債	2,941,904	2,941,904
退職給付引当金	75,977	66,194
その他	235,369	239,634
固定負債合計	14,558,889	13,395,494
負債合計	19,726,599	20,266,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△1,332,020	△1,176,345
自己株式	△6,472	△6,453
株主資本合計	664,882	820,576
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,786	△7,841
繰延ヘッジ損益	△266	4
土地再評価差額金	4,264,422	4,264,422
為替換算調整勘定	19,184	△13,728
評価・換算差額等合計	4,286,126	4,242,856
少数株主持分	487,683	451,576
純資産合計	5,438,692	5,515,010
負債純資産合計	25,165,292	25,781,573

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,528,381	2,425,421
売上原価	1,991,368	1,899,751
売上総利益	537,012	525,670
販売費及び一般管理費	598,963	583,043
営業損失(△)	△61,951	△57,373
営業外収益		
受取利息	4,402	2,198
受取配当金	—	1,344
その他	3,795	1,551
営業外収益合計	8,197	5,094
営業外費用		
支払利息	88,955	92,582
その他	10,080	7,975
営業外費用合計	99,036	100,557
経常損失(△)	△152,789	△152,835
特別利益		
固定資産売却益	290	—
貸倒引当金戻入額	3,584	843
特別利益合計	3,874	843
特別損失		
固定資産処分損	1,384	114
その他	47	—
特別損失合計	1,431	114
税金等調整前四半期純損失(△)	△150,346	△152,106
法人税、住民税及び事業税	12,684	1,359
法人税等調整額	△6,655	1,720
法人税等合計	6,028	3,079
少数株主利益	436	488
四半期純損失(△)	△156,811	△155,675

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△150,346	△152,106
減価償却費	144,261	150,737
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,596	△843
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△175,077	△165,106
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,238	△11,494
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,865	9,782
受取利息及び受取配当金	△5,837	△3,543
支払利息	88,955	92,582
固定資産除売却損益 (△は益)	1,094	114
売上債権の増減額 (△は増加)	802,802	614,991
たな卸資産の増減額 (△は増加)	68,745	57,788
仕入債務の増減額 (△は減少)	△420,567	△288,937
預り保証金の増減額 (△は減少)	433,969	△56,714
その他	△59,321	△159,816
小計	733,708	87,433
利息及び配当金の受取額	6,028	3,525
利息の支払額	△81,715	△96,127
法人税等の支払額	△10,951	△6,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	647,069	△11,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,027,097	△13,806
固定資産の除却による支出	△400	—
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,577	—
投資有価証券の取得による支出	△328	△330
出資金の払込による支出	—	△57,508
その他	157	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,026,092	△71,485
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,667	403,024
長期借入れによる収入	900,000	1,530,000
長期借入金の返済による支出	△285,748	△1,948,408
リース債務の返済による支出	—	△13,334
自己株式の純増減額 (△は増加)	△81	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	612,502	△28,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,258	15,819
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△786,778	△96,037
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,728	1,050,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	966,949	954,907

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	繊維・アパレル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,046,470	481,910	2,528,381	—	2,528,381
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	296	2,358	2,655	(2,655)	—
計	2,046,767	484,269	2,531,036	(2,655)	2,528,381
営業利益又は営業損失 (△)	△101,994	153,237	51,242	(113,193)	△61,951

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	繊維・アパレル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,867,561	557,860	2,425,421	—	2,425,421
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	67	2,004	2,072	(2,072)	—
計	1,867,628	559,865	2,427,493	(2,072)	2,425,421
営業利益又は営業損失 (△)	△128,557	178,324	49,767	(107,140)	△57,373

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、事業の種類の種類類似性及びに製品の種類、性質及び販売市場等の類似性を考慮して区分している。

2. 各事業区分の主要品目

事業区分	売上区分	主要品目
繊維・アパレル事業	素材部門	糸、織物
	ユニフォーム部門	ユニフォーム用素材、制服
	衣料部門	紳士服、婦人服
	寝装品部門	ふとん、毛布、シーツ
不動産事業		不動産賃貸、商業施設の運営・管理

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略している。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略している。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略している。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略している。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。